

2026 年度の事業計画について

国はこども大綱に基づき各年の具体的な取組について、今後毎年6月を目途に「こどもまんなか実行計画」を策定することとなっています。これまでは、第1章(2)未来を担うこども・若者へのより質の高い育ちの環境の提供の項目のIV「地域ぐるみの子育て支援の強化・推進」のなかに地域子育て支援拠点事業・利用者支援事業等が含まれていましたが、今後の位置づけについては注目していく必要があります。昨年度末、会員向けブロック別意見交換会でいただいた意見等を反映して4月にはこども家庭庁成育環境課と意見交換をいたしました。今後も国の政策の動向に着目し、会員の皆さまにはいち早い情報提供を心掛けたいと思います。

さて、こども家庭庁委託事業の研修を本年度も無事受託することができました。全国セミナーは、11月7日(土)8日(日)に神奈川県横浜市での開催が決まり、地方セミナーは、広島、宮城、和歌山、東京の4か所にて開催いたします。リーダーシップ研修は参加しやすい1日型のオンライン開催となっております。プレママ・プレパパ向けの講座のためのワークショップはリニューアルして「プレママ・プレパパ支援実践講座」となります。講座内容もバージョンアップしていますのでぜひご参加ください。「利用者支援専門員(基本型)のひろば講座・交流会」もリニューアル、「テーマ別交流会」「会員向けオンライン相談」も継続しております。その他、地域子育て支援士一種養成講座も1日のオンラインと2日間の対面研修で参加しやすくなりました。地域子育て支援士二種養成講座、初任者研修、利用者支援事業等従事者研修、利用者支援スキルアップ研修、グループワーク活用講座等につきましても、職員のスキルアップにぜひご活用ください。

総会後の会員向けオンラインセミナーでは、男性育休推進に伴う「働く父親の問題」に着目、(一社)Daddy Support 協会を2022年に創設した平野翔大さんをお迎えしてお話をお聞きします。また昨年度の調査研究も踏まえ、拠点において妊娠期からパートナー同士が尊重し合い、地域とつながり、ともに育てていく関係性を支えていく必要性を感じており、ひろば全協ならではの「家庭のパートナーシップを支える支援者の理解促進」のため、新たな研修講座を検討しています。本年度は文献調査やヒアリング等を丁寧に行い、支援者に必要な視点や拠点のあり方を探り、次年度以降に本格的な研修を構築していきます。なお本年度の成果を共有するため、2027年2月19日に基調講演に柴田悠先生をお呼びしてオンラインフォーラムを開催する予定です。

本年度は、第2期中期計画の初年度として事業を遂行していきます。今後3年間で目指す成果や目標を共有し、「ともに支える。こどもと家庭に寄り添う拠点」のキャッチフレーズを継続、3つの重点テーマの下、アクションプランを新たに定めています。また、昨年度から会員継続のシステム変更等ICT化を進めていますが、これまで年2回発行しておりました紙ベースの情報紙「子育てひろば」は終了し、今後は年1回のアニュアルレポートをWeb形式で発行してまいります。

本年度も会員の皆さまの活動を応援できるよう、多くの研修や交流の機会を用意しております。皆さまとともに親子の交流の場の価値を社会に発信し、子どもと子育て家庭のウェルビーイングの起点となれるよう、より豊かな社会づくりに貢献できればと願っております。本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長 奥山千鶴子

中期計画キャッチフレーズ 『ともに支える。こどもと家庭に寄り添う拠点』

2026～2028 年度 <目指す成果> (期待される効果)

1. こども・子育て家庭

- ・拠点は妊娠期から就労の有無に関わらず夫婦ともに利用することができ、頼れる居場所であると広く認識されている。
- ・気軽に相談ができて、多様な支援サービスにつないでくれる場と認識されている。
- ・こどもが権利の主体として尊重され、様々な遊びや体験を通して自分の世界を広げ、親以外の様々な人との関係を育める場として認識されている。

2. 会員

- ・多様な団体がさらに増え、会員数が増えている。
- ・会員間の相互交流により、子育て家庭のニーズにより早く気づき、各団体が取り組みに反映させている。

3. 地域・行政

- ・拠点の役割が評価され、行政と地域の協働が深まり、地域での重要性が増す。
- ・地域全体でこどもと家庭を支える意識が浸透する。

4. 専門機関・近隣領域

- ・拠点の価値や専門性が理解され、多職種連携やともに活動する機会が増えている。
- ・共同で啓発キャンペーンや研究・調査等が進んでいる。

5. 企業

- ・協賛企業が増えている。
- ・拠点で CSR やボランティアをする従業員が増えている。

重点テーマ (1) 地域子育て支援拠点の社会的認知度の向上

こどもを授かったときから、子育て家庭の身近な支え手として、家庭と地域の架け橋を担っている拠点の価値を社会的に広める。

(1) こどもを授かった時から、拠点とつながる取組支援

- ・プレママ・プレパパに拠点を紹介しやすいように WEB サイトを充実させる。
- ・会員や地域子育て拠点事業者、こども家庭センター等にひろば全協の利用者向けサイトを周知する。
- ・会員がプレママ・プレパパ支援に取り組めるよう研修を実施する。

(2) 拠点で取り組む最新情報の発信

- ・2025 年度調査研究をふまえて拠点の現状と課題・可能性を発信する。
- ・2025 年度調査研究をひろば全協の研修に反映する。
- ・2025 年度調査研究をふまえて他の機関等との連携を支援する。

(3) 乳児期からのこどもの遊びと体験を様々な関係性の中で育む必要性のさらなる発信

- ・拠点におけるこどもの安心と挑戦の循環の大切さについて研修を通じて伝える。
- ・乳幼児期のこどもの育ちの大切さを交流の場である拠点から社会に発信する。
- ・乳幼児期のこどもの育ちの大切さの理解者を増やすため多世代交流やボランティア育成を支援する。
- ・拠点におけるセーフガーディング(こどもや弱者に対する行動規範)を作成する。(本年度は勉強会まで)

重点テーマ（２） 会員の声を活かした地域子育て支援拠点の質の向上

会員とともに、情報交流・相互交流・調査研究・研修などを行い、地域子育て支援拠点の質の向上をはかる。

（１）地域子育て支援拠点の質の向上をはかる

●パートナーシップ研修の開発と実施

拠点が子育てを始めた家庭に対して、こどもをまんなかに互いを子育てのパートナーとして尊重し合いともに育てていく関係性（コペアレンティング）を育むことを支える場として、何ができるのかを考える研修を開発し、実施していく。

- ・2026年度：啓発冊子作成と2027年2月にフォーラム実施。
- ・2027年度：冊子を使用した研修を開発しモデル実施を経て本実施する。

●研修・セミナーの実施【継続】

（２）ひろば全協へ意見を収集しニーズに沿った事業を実施

●テーマ別交流会

会員の興味関心があるテーマ別に交流する機会を設けて情報交換を行う。

●利用者支援専門員のひろば・専用講座・交流会

参加者のネットワークを作り、広くニーズを探っていく。また参加したことからの会員拡大を目指す。

●会員向けオンライン相談会

運営上の相談の機会が必要とされていることを推測し、相談会を実施する。

また相談会からもニーズを把握し、必要とされている事業を企画していく。

●ブロック別意見交換会

- ・オンラインで6ブロックの会員と意見交換。その内容を参考にして意見書作成を行う。
- ・全国・地方セミナーの前日に会員に声をかけて交流・情報交換する。

重点テーマ（３） 企業や行政をはじめとした多様な関係者とのつながりの強化

子育てに優しい社会を目指し、ひろば全協が多様な関係者とつながることで会員団体の地域ネットワークの広がりを応援する。

（１）地域子育て支援拠点の役割を、地域、行政、企業に発信

●ホームページ、SNSの充実

- ・「こどもまんなかアクション」をInstagramで発信する。
- ・Instagramの企業向けのハイライト（企業連携）について充実させる。
- ・現在HPに掲載している企業向けの内容をSNSでも配信する。

●企業向けのチラシを改訂

- ・プレママ・プレパパに関する企業向けチラシをリニューアルし、活用と配布方法を再検討する。

（２）都道府県、地域の状況を把握する

- ひろば全協のホームページに掲載している都道府県別地域子育て支援拠点一覧を最新のデータに更新
 - ・ブロック別意見交換会において、地域の現状を把握する。
 - ・オンラインで6ブロックの会員に対して、地域の現状、行政との連携等について話を聞く機会を設ける。

1. 住友生命「未来を強くする子育てプロジェクト」助成事業

(1) 利用者支援専門員（基本型）のひろば

地域子ども・子育て支援事業の1つである利用者支援事業（基本型）は、地域子育て支援拠点等の身近な場所で個別の家庭のニーズを把握し、円滑な事業・サービスへつなぐために、日常的に関係者と連携し必要な資源の開発等を行うことが求められています。今年度も受講対象を会員から一般の利用者支援事業（基本型）実施団体や専門員に広げ、事業の促進やスキルアップを図ると共に、子育て支援関連の相談支援体制の強化、専門員の更なる社会的位置づけの向上を目指したい。

実施内容

●利用者支援専門員（基本型）のひろばへの登録・メールマガジンの配信

ひろば全協会員で、利用者支援事業（基本型）を実施している団体または専門員の方にメールアドレスをご登録いただき、メールマガジンを配信。研修のお知らせや、全国の実践者から寄稿いただく「わがまちの利用者支援事業の実践紹介」を掲載し、メールアドレス登録会員に配信。

●講座・交流会の開催 全3回

利用者支援専門員のための講座（事例検討のグループワーク）と交流会を開催する。事例を活用して利用者支援専門員として行う支援を話し合い、そこで必要なポイントを講師が解説。利用者支援専門員向けのコミュニティがあまりない中、交流会ではテーマについて日頃の活動での気づきや課題等の情報交換を行う。

<第1回講座>

日程	テーマ	定員
7月10日（金） 13:30～15:30	事例検討を通して学ぶ利用者支援事業の役割 ～家庭を予防的・包括的に支える地域連携	50名

- 講師：橋本真紀先生 関西学院大学 教授
- コーディネーター：3名（ひろば全協理事）
- 受講要件：通算3年以上または1300時間の実践経験がある利用者支援専門員

<第2回講座>

日程	テーマ	定員
10月19日（月） 13:30～15:30	利用支援を入口とした利用者支援～「こどもを預けたい」は支援のきっかけ	50名

- 講師：新澤拓治先生 社会福祉法人雲柱社 施設長
- コーディネーター：3名（ひろば全協理事）
- 受講要件：利用者支援事業（基本型）の専門員の方

<交流会>

日程	テーマ	定員
12月9日（水） 13:30～15:30	地域資源開発はじめての一步 ～地域とどうつながっていくかを考える	50名

- コーディネーター：3名（ひろば全協理事）
 - 受講要件：利用者支援事業（基本型）の専門員の方
- (2) テーマ別交流会（会員限定 オンライン開催）

(2) テーマ別交流会 (会員限定 オンライン開催)

拠点実践者の間で関心の高い2つのテーマを設けて交流や情報交換を行い、ピアサポートし合う機会として開催する。好評の交流会後の30分延長プログラム「ちょこっと交流会」も引き続き開催予定。

日時	テーマ	定員
7/7 (火) 13:30~15:00 +ちょこっと交流会30分	◆子どもの願いや思いを大切にすることでどうということ？ ～子どもの育ちを支える環境づくり 子どもの豊かな育ちには人や物との出会いや体験が欠かせません。 それらを保障するひろばの環境や運営について一緒に考えます。	40
2027/1/20(水) 13:30~15:00 +ちょこっと交流会30分	◆子どもが就園した家庭のニーズにどう応えていますか？ 拠点利用者からは、保護者の就労状況にかかわらず子どもの就園後も継続的に拠点を利用しやすくする工夫が求められています。家庭のニーズを捉え、どのような支援ができるか考えます。	40

- コーディネーター：2名 (ひろば全協理事)
- 参加要件：ひろば全協の会員であること
- 参加費：無料

(3) 会員向けオンライン相談

組織運営の悩みについて団体の代表・施設長が話をする中で解決の糸口を見つける時間を提供する。

- 対象 代表・施設長限定2名
- 担当 2名 (ひろば全協理事)

日程	募集团体数	所要時間
6月	3団体	1団体30分
9月	3団体	1団体30分

(4) パートナーシッププログラムの開発

妊娠期から出産、そして子育てのはじまりは、パートナーとの生活や関係性が大きく変化する時期でもある。地域子育て支援拠点が、こどもをまんなかに、パートナーが互いに尊重し合い、地域とつながり、ともに育てていく関係性(コペアレンティング)を育むことを支える場として何ができるのかを有識者・実践者とともに考える。2026年度は拠点従事者に共有いただきたい子育て家庭のパートナーシップに関するリーフレットを作成する。

- ひろば全協が考える「パートナーシップ研修」とは
拠点が子育てを始めた家庭に対して、こどもをまんなかに互いを子育てのパートナーとして尊重し合い、ともに育てていく関係性(コペアレンティング)を支える場として、何ができるのかを考える研修
- 開発のスケジュール
 - ①文献調査(4~5月)
 - ②拠点従事者向け事前アンケート&ヒアリング(5~6月)
 - ③ひろば全協理事検討会(6月)
 - ④ヒアリングとりまとめ(7月)
 - ⑤パンフレット作成(A4・8ページ 年内)
 - ⑥フォーラム開催(2027年2月)
 - ⑦拠点従事者向け研修プログラムの作成とモデル実施(2027年度以降の予定)
- 協力：勝山 幸さん 東京家政大学 非常勤講師
どんぐり発達クリニック 臨床心理士・公認心理師

(5) オンラインフォーラム

●テーマ

「こどもをまんなかにしたパートナーシップ」を育むために地域子育て支援拠点にできること

●趣旨・目的

リーフレット作成のために行った調査と現場の実践をもとに、こどもをまんなかにしたパートナーシップを育む拠点のあり方を共に考える。

●日時 2027年2月19日(金) 13:30~16:00

●プログラム内容

1. 行政説明 こども家庭庁成育局成育環境課

2. 基調講演 講師：柴田 悠さん(京都大学大学院 人間・環境学研究科 教授)

3. トークセッション

話し手

・柴田 悠さん (京都大学大学院 人間・環境学研究科 教授)

・勝山 幸さん (東京家政大学 非常勤講師・どんぐり発達クリニック 臨床心理士・公認心理師)

コーディネーター

・中條美奈子 (ひろば全協理事)

(6) 地域子育て支援拠点紹介チラシの作成

ひろば全協は多様な関係者の皆様と連携し、子育てに優しい社会の構築を目指し、こどもと子育て家庭を支えるために役割を果たしていくことを目指す。育休中から拠点を利用することで職場復帰がスムーズになるよう、拠点が仕事と子育てとの両立を応援し、企業の皆様と連携しチラシを配布することで産休・育休を取得した社員の皆様へ情報提供をお願いする。

また、子ども・子育て支援に関する講座・講演の実施、社員の皆様がボランティアを希望される際の拠点のご紹介など、企業の皆様と地域の子育て支援団体をつなぐお手伝いを実施。本年度は企業向けのチラシを最新の情報にリニューアルする予定。



(7) 地域子育て支援拠点ガイドラインの手引の改訂

各制度の改編と最新の情報を反映し、研修等で効果的に使用できるように4年ぶりに改訂する。

●執筆者(敬称略)

監修：渡辺 顕一郎(日本福祉大学 教授)

橋本 真紀(関西学院大学 教授)

執筆：大豆生田 啓友(玉川大学 教授)

奥山 千鶴子(NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長)

金山 美和子(長野県立大学 教授)

新澤 拓治(社会福祉法人雲柱社 施設長)

橋本 真紀(関西学院大学 教授)

渡辺 顕一郎(日本福祉大学 教授)

発行：2027年6月発行予定



2. こども家庭庁委託事業 地域の人材による子育て支援活動強化研修

(1) 全国規模（全国セミナー）

開催名	全国子育てひろば実践交流セミナー in 神奈川
日時	11/7 (土) 13:00～17:30 (1日目：全体会) 11/8 (日) 9:00～12:30 (2日目：分科会)
会場	関東学院大学 横浜・関内キャンパス テンネー記念ホール（横浜市中区万代町 1-1-1）
後援（予定）	神奈川県・横浜市・（社福）全国社会福祉協議会 日本子ども・子育て支援センター連絡協議会（ここネット）
運営協力	全国子育てひろば実践交流セミナー in 神奈川 実行委員会
実行委員会事務局	認定 NPO 法人びーのびーの

(2) 地方ブロック（地域子育て支援拠点研修）

開催名	広島開催	宮城開催	和歌山開催	東京開催
日時	9/12 (土) 10:00～16:00	10/18 (日) 10:00～16:00	12/5 (土) 10:00～16:00	2027/1/24 (日) 10:00～16:15
会場	東広島芸術文化ホール くらら 小ホール (広島市西条栄町 7-19)	仙台市中小企業活性化 センター 多目的ホール (仙台市青葉区中央 1-3-1)	和歌山県 JA ビル 和ホール (和歌山市美園町 5-1-1)	東京ウィメンズプラザ ホール (渋谷区神宮前 5-53-67)
後援 (予定)	広島県・東広島市 (社福)全国社会福祉協議会 (公財)ひろしまこども夢財団	宮城県・仙台市 (社福)全国社会福祉協議会	和歌山県・和歌山市 (社福)全国社会福祉協議会	東京都 (社福)全国社会福祉協議会
協力	NPO 法人 子育てネットゆめもくば	NPO 法人せんだいファミリー サポート・ネットワーク	NPO 法人ホッピング	NPO 法人 せたがや子育てネット

3. 自治体等受託事業

地域子育て支援拠点従事者のための基礎研修・応用研修、講義型研修、地域子育て支援士二種養成講座、利用者支援事業等従事者研修を 14 自治体で実施予定。子育て支援員研修としてもご活用いただく。

4. 自主事業

(1) 地域子育て支援拠点等 初任者研修（オンライン開催）

NO	日程	時間
1	6/15 (月)	10:00～12:00
2	7/15 (水)	10:00～12:00
3	9/17 (木)	10:00～12:00
4	10/29 (木)	10:00～12:00
5	2027/1/28 (木)	10:00～12:00

- 講師：1名（ひろば全協理事）
- 受講料：4,400円（税込）
- 受講対象：地域子育て支援拠点等の初任者、ボランティアスタッフなど
- 受講要件：PC等（1名1台）で顔を表示して受講できること

(2) 地域子育て支援士二種 養成講座 (オンライン開催)

NO	日程	時間	協力団体
1	6/17(水)	9:30~16:50	NPO 法人あっと
2	8/6(木)	9:30~16:50	NPO 法人ふらっとスペース金剛
3	9/29(火)	9:30~16:50	一般社団法人ここみ
4	12/1(火)	9:30~16:50	(公財) 社会教育協会 子育てカフェモグモグ
5	2027/2/2(火)	9:30~16:50	NPO 法人ベビースマイル石巻

●講師：1名 (ひろば全協理事)

●受講料：9,900円 (税込)

●認定：講座終了時の認定試験合格者に認定証発行

●受講要件

・PC等(1名1台)で顔を表示すること、音声をONにできること

・次の①～④のいずれかにあてはまること

①地域子育て支援拠点等における活動者(有給の職員だけでなく継続的なボランティアも含む)

②大学・短大・専門学校等において保育士・社会福祉士・保健師 いずれかの養成課程に在籍する学生
その他、心理学を修める大学の学部・学科に在籍する学生

③保育士・社会福祉士・保健師のいずれかの資格取得者

④地域子育て支援拠点等におけるボランティア経験を有する者

(3) 地域子育て支援士一種 養成講座

	日程	時間	開催形式	定員
1日目	7/25(土)	9:30~17:00	オンライン	30名
2日目	8/28(金)	13:00~18:00	対面	
3日目	8/29(土)	10:00~17:00	対面	

●会場：1日目：オンライン (Zoom)

2日目：会場：ビジョンセンター横浜西口 302

(横浜市西区北幸2-5-15 プレミア横浜西口ビル 3F)

●講師：渡辺頭一郎先生 (日本福祉大学 教育・心理学部こども学科 教授)

奥山千鶴子 (NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長)

●受講料：50,600円 (税込)

●講義内容：「家庭支援の視点」「地域子育て支援拠点の機能と役割」「子どもの発達と環境づくり」
「支援の基本原則とマネジメント」

●認定：3日間を通して講座を受講し振り返りレポートを提出した方に認定証を発行

●受講要件：要件①・②の両方を満たし、3日間すべて受講可能な方

【要件①】週3日1日3時間以上開設の地域子育て支援拠点等で概ね3年または通算1,300時間程度の
実践経験

【要件②】*以下の項目のいずれかを満たすこと

保育士・社会福祉士・看護師・助産師・保健師・精神保健福祉士・臨床心理士・「地域子育て支援士二種」
認定者・ひろば全協「応用研修」修了者・地域子育て支援拠点の「所長」として3年以上の経験者

(4) 地域子育て支援拠点等従事者のための グループワーク活用講座 (オンライン開催)

NO	日程	時間	定員
1	7/28 (火)	13:30~16:30	50
2	12/10 (木)	13:30~16:30	50

- 講師：1名 (ひろば全協理事)
- 受講料：5,500円 (税込)
- 内容：「予防型プログラム (講座・講習)」の冊子を活用した講義とグループワーク
- 対象：利用者参加型のグループワークを活用したプログラムの開催を希望する地域子育て支援拠点職員

(5) プレママ・プレパパ支援実践講座 (オンライン開催)

NO	日程	時間	定員
1	11/26 (木)	10:00~12:00	50
2	2027/2/9(火)	10:00~12:00	50

- 講師：1名 (ひろば全協理事)
- 受講料：4,950円 (税込)
- 内容：「産前からの関係づくりに必要な視点や工夫」「プレママ・プレパパに必要な支援とは」拠点で活かせる実践方法を身につけ、スタッフとしての支援の質の向上にもつなげる。
- 対象：プレママ・プレパパ支援を実施または予定している地域子育て支援拠点等の職員

(6) 利用者支援事業等従事者研修 (オンライン開催)

NO	日程	時間	定員
1	8/4 (火)	9:30~18:30	50
2	11/19 (木)	9:30~18:30	50

- 講師：2名 (ひろば全協理事)
- 受講料：26,400円 (税込)
- 修了証書：事前課題に取り組んだ上、講座を受講した方に修了証書発行
- 受講要件：①PC等 (1名1台) で顔を表示すること、音声をONにできること
②地域子育て支援拠点など親子が継続的に利用できる施設で、概ね3年または通算1,300時間程度の実践経験者、および、それらに準ずる者

(7) 利用者支援スキルアップ講座 (オンライン開催)

「利用者支援事業等従事者研修修了者」と、利用者支援事業現任者やそれに準ずる方にもご参加いただける「利用者支援スキルアップ講座」を実施する。

日程	時間	定員
2027/2/25 (木)	13:30~16:30	60

- テーマ：対人支援における深い理解のために～「相手の話をきく」ということ～
- 講師：倉石哲也さん (武庫川女子大学 心理・社会福祉学部社会福祉学科 教授・学科長)
- コーディネーター：ひろば全協理事
- 受講料：12,100円 (税込)
- 受講要件：下記のいずれかに当てはまる方
 - ・利用者支援事業等従事者研修の修了者
 - ・利用者支援事業現任者
 - ・利用者支援事業に類する業務の従事者

(8) リーダーシップ研修 (オンライン開催)

日程	時間	定員
7/1 (水)	9:00~17:00	48
9/2 (水) 振り返り会 *任意参加	10:00~12:00	

- 講師：ひろば全協理事
- 受講料：22,000円(税込)
- 受講対象：団体の代表、理事、サブリーダー、次世代リーダーなどでリーダーシップを身につけたいとお考えの方
- 受講要件：ひろば全協の会員限定
- 申込締切：先着順・定員になり次第締切

(9) 会員向けオンラインセミナー (オンライン開催)

- 日時：2026年6月7日(日) 14:10~16:00
- プログラム テーマ：プレママ・プレパパからの「子育て」を拠点で支える
- ・行政説明 安里賀奈子さん(こども家庭庁成育局成育環境課長)
- ・基調講演 講師：平野翔大さん(一社)Daddy Support協会 代表理事・産業医・産婦人科医
- ・トークセッション 話し手 平野翔大さん (一社)Daddy Support協会 代表理事
安里賀奈子さん こども家庭庁成育局成育環境課長
奥山千鶴子 ひろば全協 理事
中條美奈子 ひろば全協 理事
- ・交流会(任意) 16:00~16:30 コーディネーター：粟澤稚富美 ひろば全協理事

(10) 子育てひろば総合補償制度の拡充

子育てひろばで発生しうる事故を想定して作られた総合補償制度。任意加入であるが、安心、安全のためにも補償制度の更なる普及を目指す。また、事故申請の内容を確認し、各ひろばへの情報還元を行うなど、ひろばでの事故予防にも努める。

- 対象となる会員：「子育てひろば」もしくは類似の事業を実施されている会員の方
- 保険期間：1年間(2026年4月1日午後4時~2027年4月1日午後4時まで)
※約定履行費用保険のみ、2026年4月1日午前0時~2027年3月31日午後12時
- 概要 (1) 賠償責任補償制度
(2) ひろば施設内利用者傷害見舞金制度
(3) 近隣活動・移動中傷害見舞金制度
(4) ひろば職員傷害保険制度
(5) サイバーリスク保険制度(個人情報漏えい保険)

*引受保険会社：東京海上日動火災保険株式会社

*ひろば全協事務受託会社・募集代理店「東京海上日動あんしんコンサルティング株式会社」

5. 政策提言・情報提供・情報収集活動

(1) 意見書の提出

各種委員会に出席し意見書を提出すると共に、こども家庭庁に次年度予算等の要望書を提出する。

(2) アニュアルレポート(年次報告書)発行

- 発行予定時期：2026年6月中旬
- 発行部数：各1,600部

(3) ホームページやSNSでの情報発信

- 各種講座や研修セミナー等の広報と実施報告を行う。
- ホームページやInstagram等の内容を充実させSNSのフォロワー数を増やす。
- 「各地のひろば」(会員のHPのリンク集)の更新。会員ネットワーク形成のきっかけとする。
- 国の会議に提出した意見書の公開および、国から提供された最新情報の提供。

(4) メールニュース配信

各種研修事業の案内や国の制度などの最新情報を提供。会員限定・月1回定期配信。

(5) 電話相談対応

会員、行政等からの問い合わせ、ひろば保険、拠点運営に関する相談対応。

(6) 新聞等メディア対応

取材対応、取材対象先の情報提供など。

(7) 自治体向け研修紹介パンフレット作成

基礎研修、応用研修、中堅者研修、地域子育て支援士二種、利用者支援事業等従事者研修、グループワーク活用講座、プレママ・プレパパ支援実践講座・初任者研修、スキルアップ研修、講義型研修など、ひろば全協の研修プログラムを紹介する。

(8) 会員マイページの運用

2026年度より開始した会員継続のマイページによるDX化を推し進める。きめ細やかな会員対応ができるようにさらなるシステム改修を行いスムーズな会員情報の管理を行う。

6. 委員委嘱

- ①こども家庭庁 こども家庭審議会子ども・子育て支援等分科会委員 奥山千鶴子
- ②こども家庭庁 こども家庭審議会成育医療等分科会委員 藤井智佳子
- ③こども家庭庁 こども家庭審議会幼児期までのこどもの育ち部会 奥山千鶴子
- ④こども家庭庁 健やか親子21推進本部幹事会委員 奥山千鶴子
- ⑤国土交通省 子育てにやさしい移動に関する協議会委員 松田妙子
- ⑥国土交通省 移動等円滑化評価会議 松田妙子
- ⑦東京都子育て支援員研修運営等検討委員会委員 東京都福祉保健財団 奥山千鶴子
- ⑧横浜市 親と子のつどいの広場事業運営団体選定委員会委員 松田妙子
- ⑨(一社)全国食支援活動協力会 「広がれ、こども食堂の輪！」推進会議委員 廣崎祥子

*委員会ではない形式

- ①内閣府 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム幹事会 ひろば全協として参画